

54 ソリハシシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Xenus cinereus

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

ロシア西部からシベリアなどで繁殖し、繁殖後は東アフリカから西アジア西部、アジア南部、オーストラリアなどの沿岸に渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来する。干潟、河口、海岸近くの湿地、水田などに生息し、ゴカイ類、貝類、カニ類、昆虫類などを採食する。



写真提供：森田俊司

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、上三島諸島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、尼崎市、★明石市、★西宮市、洲本市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、★高砂市、加西市、★南あわじ市、★淡路市、たつの市、★稲美町、香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特 ら休 息環 境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-6月と8-10月に生息する。瀬戸内の沿岸では比較的古くから記録が残されている。ただし、1967年9月に姫路市興浜23羽の記録を除くと大抵は数羽から10羽までの群れである。近年は生息地の消滅に伴い個体数も減少した。県北部でも観察されている。最近では単独個体が時々観察される程度である。

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全に加えて、積極的な再生のための環境整備が重要。